



SOY CMSを使って
みよう！

其の0 インストール編

本マニュアルはサーバ管理が専門ではないデザイナー様やディレクター様向けの資料です。用語の使用が正確で無い場合もありますが、分かりやすさを優先させているものとしてご理解ください。

● 必須環境

SOY CMSのインストールに必須の環境は下記の通りです。

- ◆ Apache HTTP Server (1.3, 2.0, 2.2)
 - mod_rewriteが有効であること。
 - .htaccessでRewrite設定が行えること。
- ◆ PHP 5.2.0以降
 - 以下の拡張モジュールが有効であること。
 - * PDO
 - * PDO_SQLite(SQLite版のみ)
 - * PDO_MySQL(MySQL版のみ)
 - * mbstring
 - 以下の設定となっていること (Ver.1.2.0xまで)
 - * magic_quotes_gpc = Off

● 推奨環境

推奨環境は下記の通りです。これらは動作に必須ではありませんが、できるだけ満たされていることが望ましい条件です。

- ◆ PHP 5.2.1以降
 - 以下の拡張モジュールが有効であること。
 - * Zip
 - * GD
 - 以下の設定となっていること(Ver1.2.1以降)
 - * magic_quotes_gpc = Off

● お勧めはしないが動かせなくはない環境

下記はお勧めはしませんが、サーバ管理の知識があれば動作させられなくもないという環境です。公式にはサポートすることはできませんが、自信のある方はお試しください。

- ◆ PHP 5.1.6～

SOY CMSでは内部でJSON形式のデータを取り扱っています。そのため、php5.2.0より古いバージョンでは別途PEAR::Services_JSONをインストールする必要があります。

- ◆ セーフモードで動作しているPHP

SOY CMSではインストール時にディレクトリの作成を行います。しかしセーフモードではその動作が許可されていないことがあるため、ディレクトリの作成やパーミッションの変更を手動で行う必要があります。

● その他の注意点

その他にも、レンタルサーバ毎にphpファイルを動作させるために特定のパーミッションに設定する必要がある場合などがあります。詳しくはサーバ毎に異なりますので、サーバ管理者にお問合せください。なお、後ほど本マニュアルでは下記のレンタルサーバや環境へのインストール方法を解説しています。

- ◆ さくらインターネット スタANDARD
- ◆ ロリポップ
- ◆ CORESERVER(PHP5.2.1以降がつかえるXREAもおそらく同じ)
- ◆ XAMPP(準備中)
- ◆ WARP(準備中)

● 4つのパッケージ

SOY CMSには現在、4種類のパッケージがあります。

- ◆ SQLite版インストーラ無
- ◆ SQLite版インストーラ有
- ◆ MySQL版インストーラ無
- ◆ MySQL版インストーラ有

いずれを使用すべきかは、SOY CMSの用途、運用したいサーバの環境、管理者の知識・経験によって異なります。

● DBタイプの選択

まずはデータベースとしてSQLiteとMySQLどちらを使用するかを決めなければなりません。運用したいサーバが決まっており、そこで片方しか使用できない場合はそちらをご利用下さい。なお、動作環境チェック時にはSQLiteが使用できます、MySQLが使用できます、といった記述の他にPHPのPDO_SQLITE、PDO_MYSQLが使用できるかどうかにも注意してください。不明な場合はサーバ管理者にお問合せいただくか、phpinfo()関数によって設定をご確認下さい。

SQLite、MySQLそれぞれのメリット、デメリットに関しては議論がありますので、各自検索になるなどしてご判断下さい。SQLite版をご利用の場合、SQLiteデータベースファイルには外部からアクセスできないように.htaccessファイルが自動的に生成されます。

◆ MySQL版の注意点

SOY CMSではサイトやApp(別資料で解説します)毎にデータベースを作成します。SQLite版ではデータベースの作成に制限がかかることはまずありませんが、MySQL版の場合データベースの作成権限や作成数の上限に注意してください。

● インストーラの有無の選択

インストーラの有無に関しては、下記の通りお考え下さい。

◆ SQLite版

SQLite版は動作環境を満たしているサーバであれば、パッケージをダウンロードしたファイルを解凍してできる5つのディレクトリをそのままドキュメントルート以下の適当なディレクトリにアップロードすれば動きますので、インストーラ無版をおすすめします。

◆ MySQL版

MySQL版はサーバへの接続情報を設定ファイルに記述しなければなりません。ファイルを直接操作されたい方はインストーラ無版を、それ以外の方はインストーラ有版をご利用下さい。

● 圧縮ファイルタイプについて

公式ページからダウンロードできるファイルは、先に挙げた4タイプそれぞれにつきzipおよびtar.gz形式で圧縮されたものです。

ファイルの圧縮についてよく分からないという場合は、zip形式を選択してください。

さくらインターネット スタンダードプランへのインストール①



● プランに関する注意点

2009年1月8日現在、さくらインターネットのライトプランではPHPが使用できません。スタンダード以上のプランをご利用下さい。

● SQLite版のインストール

SQLite版であれば、パッケージ「SQLite版インストーラ無」を選択し、ファイルを解凍してできるディレクトリ

- ◆ soycms
- ◆ common
- ◆ admin
- ◆ app
- ◆ licence

をドキュメントルート以下の適当な場所にアップロードするだけです。

● サーバ情報の確認

コントロールパネルから、サーバ情報を確認します。



サーバ情報の表示



サーバに関する情報



このFTP設定に関する情報を控えておきます。

パスワードは別途申し込み受付メールに記載されています。

さくらインターネット スタンダードプランへのインストール②



● SOY CMSの準備

SOY CMS公式サイトから、ファイル (soycms_1.*.*_sqlite.zip) をダウンロードして手元のPCで解凍します。(圧縮されたファイルをアップロードし、サーバで解凍することも可能ですが、それは後ほど解説します)

ファイルを解凍すると下記の5つのディレクトリが作成されます。

- ◆ soycms
- ◆ common
- ◆ admin
- ◆ app
- ◆ licence

● インストール場所の決定とアップロード

SOY CMSはドキュメントルート以下のどこにでも設置することができます。また、設置した場所に関わらず、ドキュメントルート直下に対して動作します。

ここでは、下記のディレクトリにインストールすることにします。(わかりやすさのため「cms」という名前にしていますが、**第三者に推測されないようなディレクトリのほうが安全です**。また、できれば当該ディレクトリにはBASIC認証をかけるなどしてください。)

/home/(アカウント)/www/cms/

◆ FTPによるアップロード

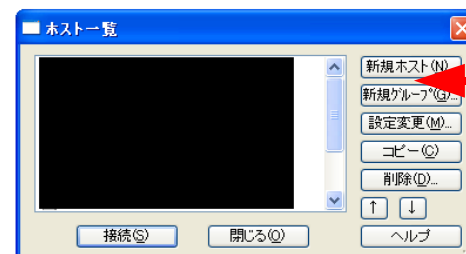
まずはFTPによるアップロードについて解説します。先に控えておいたサーバ情報に従い、接続をおこなってください。ここではFFFTPを用いた接続方法を紹介します。

- FFFTP

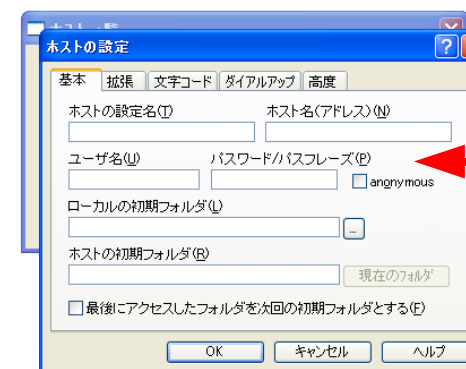
FFFTPは曾田純氏により開発・公開されているフリーのFTPクライアントです。詳しい情報およびソフトウェアのダウンロードは下記をご覧ください。

<http://www2.biglobe.ne.jp/~sota/>

以下、FFFTPのインストール・起動が終わったところから説明します。



新規ホスト

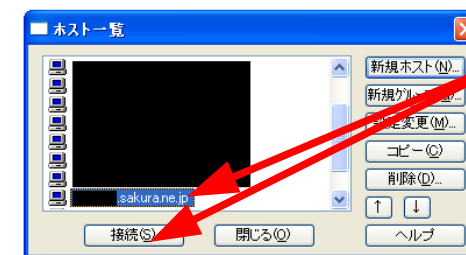


接続情報を入力

ホストの設定名は分かりやすい名前を適当につけてください。

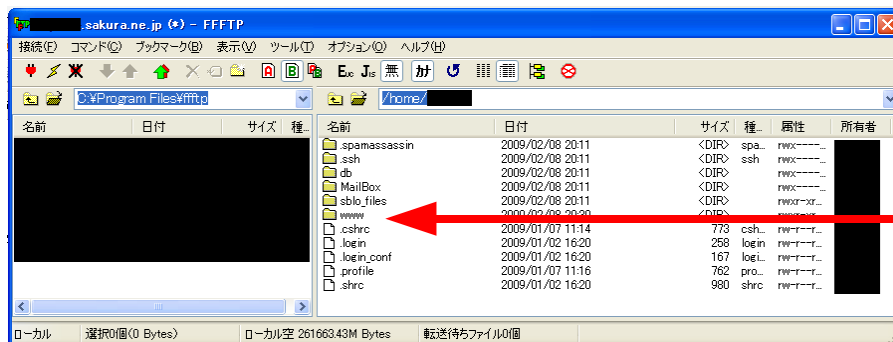
ホスト名・・・FTPサーバ
ユーザ名・・・FTPアカウント
パスワード・・・パスワード

を入力してください。他は入力・チェックは不要です。

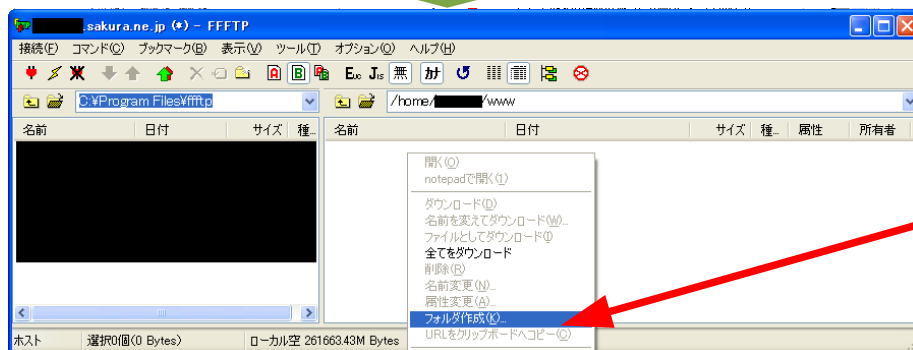


作成したホストが選択されていることを確認して、「接続」を押します。

さくらインターネット スタンダードプランへのインストール③



www(ドキュメントルート)を選択



右側の白い枠内を右クリック→フォルダを作成

ここでは先の解説の通り、[cms]という名前で作成します。(わかりやすさのため「cms」という名前にしていますが、**第三者に推測されないようなディレクトリのほうが安全です**。また、できれば当該ディレクトリにはBASIC認証をかけるなどしてください。)

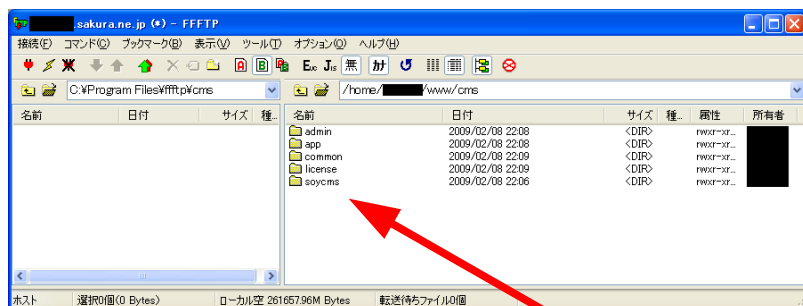


作成したディレクトリに移動

この部分に、ファイルを解凍してできた5つのディレクトリをドラッグ&ドロップ

ファイルのパーミッションは755もしくは705となるように、オプション→環境設定→転送3から設定をしておいてください。

さくらインターネット スタンダードプランへのインストール④

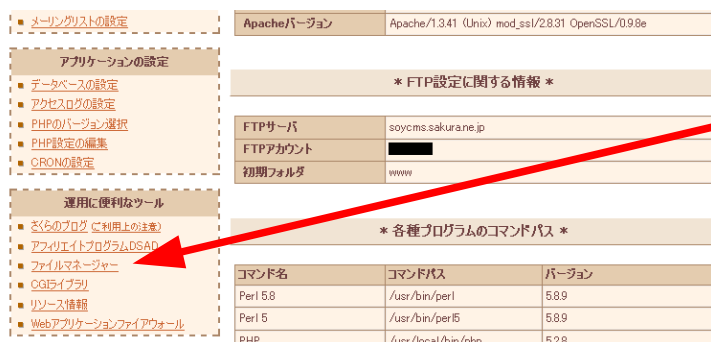


ディレクトリ・ファイルがアップロードされていることを確認

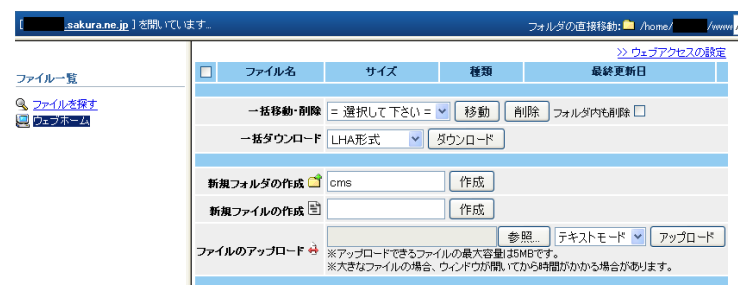
これでFTPによるアップロードは完了です。このあと実際にSOY CMSを動作させるためには、CMS管理画面にアクセスして初期管理者のアカウントの作成を行う必要がありますが、それは後ほど改めて解説します。

◆ ファイルマネージャによるアップロード

さくらインターネットのサーバのコントロールパネルのファイルマネージャからもファイルのアップロードができます。

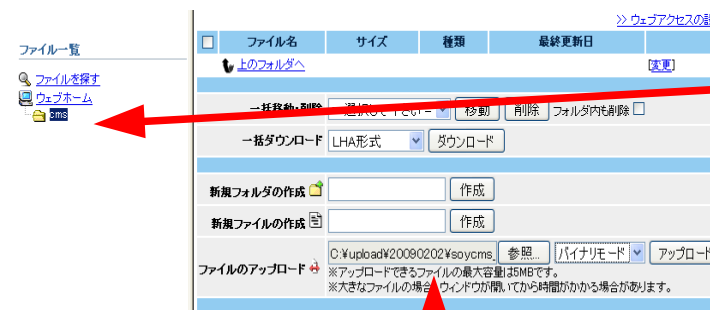


ファイル
マネージャ



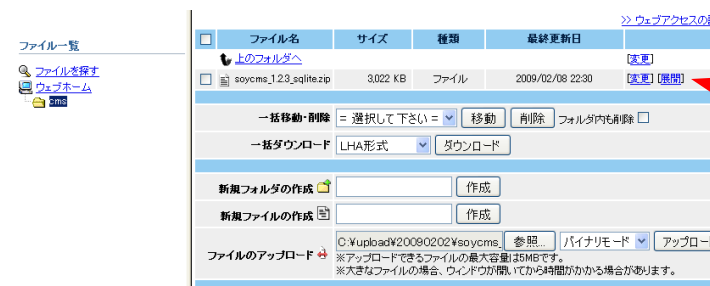
新規フォルダの
作成

先ほどと同様、
/www以下に
cmsフォルダを
作成します



作成したフォル
ダに移動しま
す。

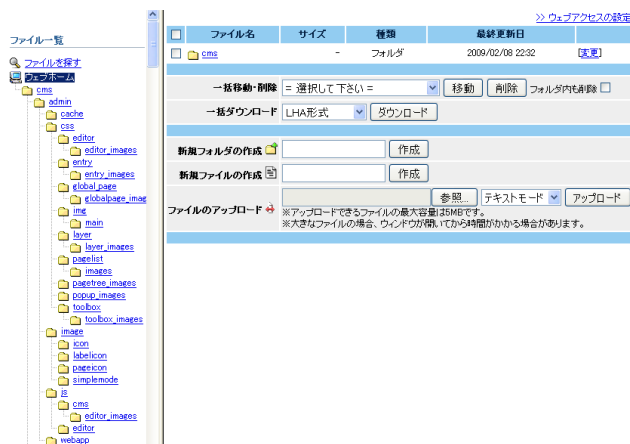
SOY CMS公式サイトからダウンロードしたzipファイルをアップロード
します。



「展開」をク
リックします。

子ウィンドウが
開きますが、そ
のままメッセ
ージにしたがっ
て展開を実行し
てください。

さくらインターネット スタンダードプランへのインストール⑤



管理画面をリロードすると、FTPでアップロードしたのと同様cmsディレクトリ以下に5つのディレクトリとファイルができてることがわかります。

● 初期管理者の設定

では、いよいよSOY CMSを動作させます。

http://***.sakura.ne.jp/cms/admin/

にブラウザからアクセスしてください。下記のような画面が表示されますので、適当なユーザ名とパスワードを入力してください。

初回ログインの設定を行います。

初期ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
パスワード(確認)	<input type="password"/>
<input type="button" value="完了"/>	



先ほど入力したユーザ名、パスワードを入力してください。



管理画面にログインできましたでしょうか？

ひきつづき、「サイトの作成」を行います。



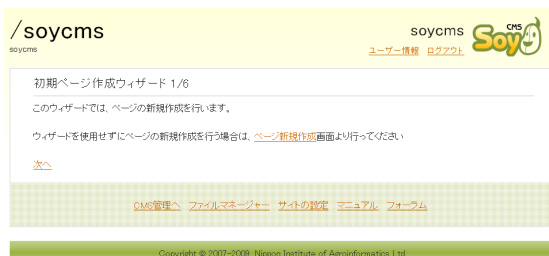
サイトIDはURLに使用されます。ドキュメントルート直下に作成したい場合は、後ほど「ルート設定」を行うことで対応しますので、ここでは適当なIDを設定しておいてください。

さくらインターネット スタンダードプランへのインストール⑥



作成したサイトをドキュメントルート直下で表示させたい場合は、「ルート設定」を実行しておいてください。

ログインをクリックして、下記のような画面が表示されればインストールに問題は完了です。以降の操作については、「SOY CMSを使ってみよう！其の②」等の資料をご覧ください。



● 注意事項

◆ さくらの共有サーバでは、PHPを動作させるには**ファイルのパーミッションを755もしくは705とする必要があるようです**。ファイルアップロード時には注意してください。

◆ 独自ドメインを使用する場合、**エイリアスは必ずドキュメントルートに設定するようにしてください**。それ以外の場所に設定する場合は高度なサーバ管理の知識が必要になります。

● MySQL版のインストール

MySQL版を動作させるには、先にコントロールパネルからMySQLのデータベースを作成する必要があります。

データベースの作成

データベース バージョン: 標準 [MySQL 5.1.43]

データベース 接続パスワード: *****

送信する

適当なパスワードを入力

MySQLのバージョンは標準のものでOKです。

データベース ユーザ名: sakura.ne.jp

データベース名: sakura.ne.jp

データベース バージョン: MySQL 5.1

データベース 接続パスワード: *****

データベース 接続パスワードの変更: 変更

管理ツール: phpMyAdmin

データベースが作成できたら、表示される情報と先ほどのパスワードを控えておきましょう。

さくらインターネット スタンダードプランへのインストール⑦



まずはインストーラによるインストール、続いて設定ファイル編集によるインストールを説明します。

◆ インストーラによるインストール

用意するファイル・・・soycms_install_1.*.*_mysql.zip

これを手元のPCで解凍すると、

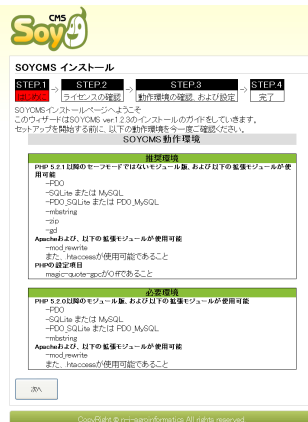
soycms_installer

というディレクトリができます。これを先ほどのSQLite版で説明したのと同様の方法で

/home/(アカウント)/www/cms/soycms_installer/

となるように中身のファイル全部ごとアップロードしてください。つづいて、ブラウザからインストーラにアクセスします。

http://(アカウント).sakura.ne.jp[もしくは独自ドメイン]
/cms/soycms_installer/



このような画面が表示
されましたでしょ
うか？

表示されたなら、「次
へ」を押してください。



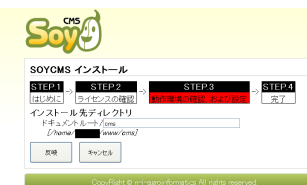
「上記内容を確認しまし
た」にチェックを入れ、
「次へ」を押してくださ
い。



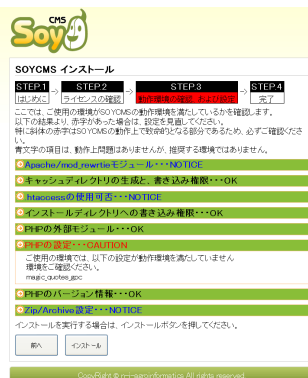
「変更」を押して、イン
ストール先ディレクトリ
を

/home/(アカウント)
/www/cms/

に変更してください。

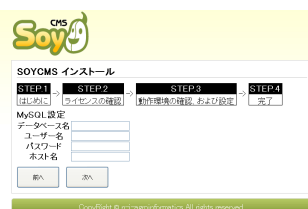


さくらインターネット スタンダードプランへのインストール⑧



表示されるエラーは無視して「インストール」を押してください。

ポップアップウィンドウで注意が出ますが、気にせず「OK」を押してください。



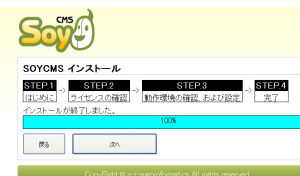
先ほど作成したMySQL
の接続情報を入力して
ください。

入力が完了したら「次へ」を押してください。



ここまでくればもうほとんど完了です。

「インストールを開始する」を押してください。



インストールが終了したら、「次へ」を押してください。



「管理者ページへ」を押してください。

あとはSQLite版と同じです。

さくらのスタンダードではデータベースがひとつしか作れませんので、「サイト」がひとつだけしか作成できないことに注意してください。

また、**サイト作成時には必ず「管理側データベースにサイトを作成する」にチェックを入れてください。**

初回ログインの設定を行います。

初期ユーザー名

パスワード

パスワード(確認)

さくらインターネット スタンダードプランへのインストール⑨



◆ インストーラを使用しないインストール

用意するファイル・・・soycms_1.*.*_mysql.zip

これを手元のPCで解凍すると、SQLite版と同じ5つのディレクトリができます。

そのなかで、

/common/config/db/mysql.php

がサーバへの接続情報を記入する設定ファイルです。最初は下記のような内容になっています。

```
Can not get a datasource.<br>
Please make sure your mysql configuration.<br>
The config file is <i>&lt;install_destination&gt;/common/config/db/mysql.php</i>.<br>
see -> <a href="http://www.soycms.net/man/mysql_configuration.html">
```

```
>http://www.soycms.net/man/mysql_configuration.html</a>
<?php
exit;

/* config start */
define("ADMIN_DB_DSN","mysql:host=localhost;dbname=soycms");
define("ADMIN_DB_USER","soycms");
define("ADMIN_DB_PASS","soycms");
/* config end */

/* do not change after. */
define("ADMIN_DB_EXISTS",file_exists(SOY2::RootDir()."db/cms.db"));
define("CMS_FILE_DB",ADMIN_DB_DSN);
define("CMS_FILE_DB_EXISTS",file_exists(SOY2::RootDir()."db/file.db"));
?>
```

赤字部分をデータベースの接続情報に書き換え、**黄色字部分を削除**して上書き保存してください。

ADMIN_DB_DSN・・・mysql:host=ホスト名(mysql***.db.sakura.ne.jp)
dbmane=データベース名

ADMIN_DB_USER・・・データベースユーザ名

ADMIN_DB_PASS・・・データベース接続パスワード

mysql.phpを上書き保存したら、soycms他5つのディレクトリを全ていまままでと同様に

/home/(アカウント)/www/cms/

以下にアップロードしてください。

http://(アカウント),sakura.ne.jp[もしくは独自ドメイン]/
/cms/admin/

にアクセスすれば後はSQLite版と同じです。ただし、さくらのスタンダードではデータベースがひとつしか作れませんので、「サイト」がひとつだけしか作成できないことに注意してください。また、**サイト作成時には必ず「管理側データベースにサイトを作成する」にチェックを入れてください。**

以上でインストールは完了です。あとの操作は「SOY CMSを使ってみよう！其の②」等の資料をご覧ください。

ロリポップへのインストール①



● SQLite版のインストール

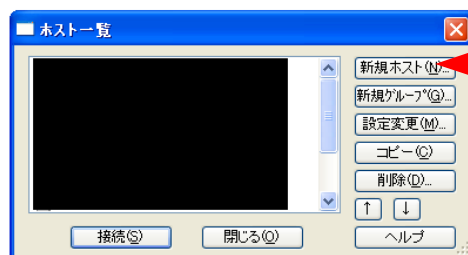
SQLite版であれば、パッケージ「SQLite版インストーラ無」を選択し、ファイルを解凍してできるディレクトリ

- ◆ soycms
- ◆ common
- ◆ admin
- ◆ app
- ◆ licence

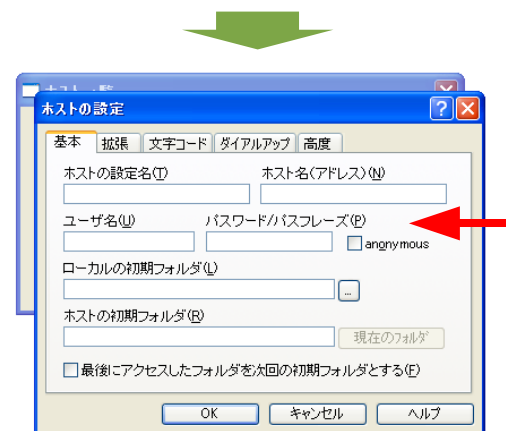
をドキュメントルート以下の適当な場所にアップロードするだけです。FTPの接続情報は「【ロリポップ!】お申し込み完了のお知らせ」メールに記載されていますので、FTPクライアントソフトを使用して接続してください。

ここではFFFTPを使用したアップロード方法について説明します。

<http://www2.biglobe.ne.jp/~sota/>



新規ホスト

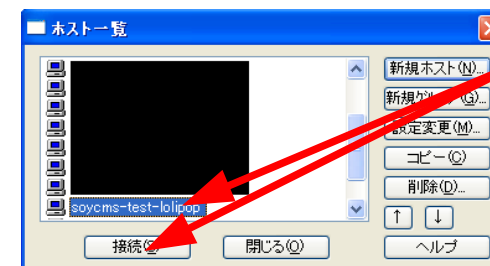


接続情報を入力

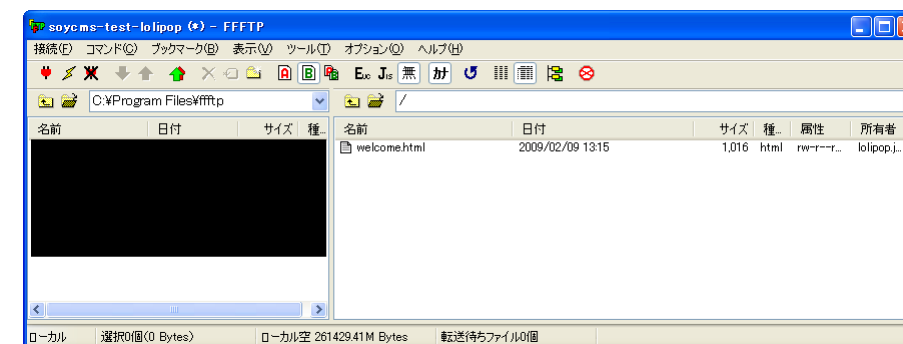
ホストの設定名は分かりやすい名前を適当につけてください。

ホスト名・・・FTPホスト
ユーザ名・・・FTPユーザー
パスワード・・・FTPパスワード

を入力してください。他は入力・チェックは不要です。



作成したホストが選択されていることを確認して、「接続」を押します。



ロリポップへのインストール②

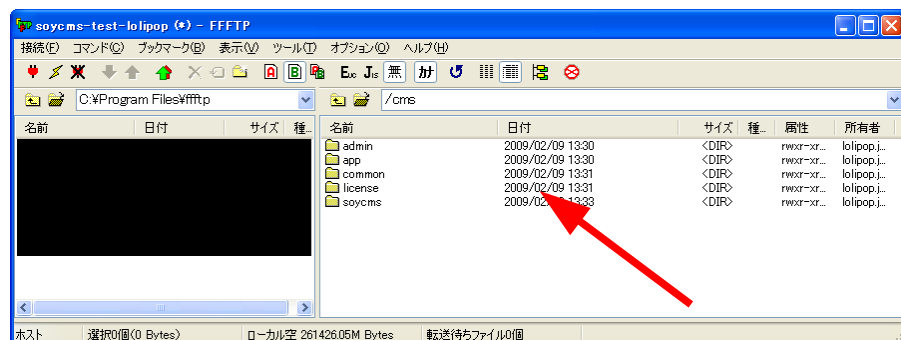


続いて、

/cms/

というディレクトリ（フォルダ）を作成し、そこに先に解凍して作った5つのディレクトリをアップロードします。（わかりやすさのため

「cms」という名前にしていますが、**第三者に推測されないようなディレクトリのほうが安全です**。また、できれば当該ディレクトリにはBASIC認証をかけるなどしてください。）



この部分にドラッグ＆ドロップでアップロードできます。

アップロードが完了したら、下記のURLにブラウザでアクセスしてください。

http://(アカウント)/cms/admin/

初回ログインの設定を行います。

初期ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
パスワード(確認)	<input type="password"/>
<input type="button" value="完了"/>	

このような画面が表示されましたか？

ちゃんと表示されましたら、適当なユーザ名、パスワードを設定してください。あとの操作は「SOY CMSを使ってみよう！其の②」等の資料をごらんください。

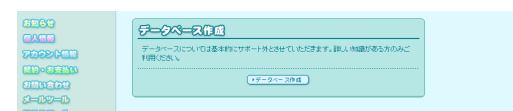
ロリポップでは、サーバーのコントロールパネルから使用できるファイルマネージャ（ロリポップ！FTP）ではzipファイルの解凍ができず、また大量のファイルのアップロードもできませんので必ずFTPクライアントソフトをお使いください。

MySQL版のインストール

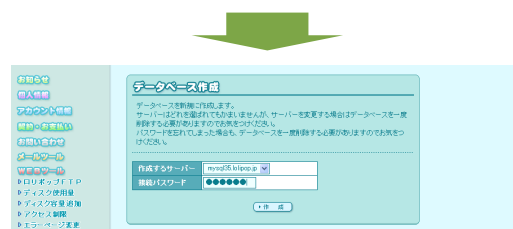
ロリポップでも、作成できるデータベースはひとつだけです。さくら同様**サイト作成数等に制限が発生します**のでご注意下さい。まずは管理画面からデータベースを作成する必要があります。



WEBツール→データベース作成を選択してください。



「データベース作成」をクリックしてください。



適当なサーバを選択肢、パスワードを設定してください。

入力したパスワードは必ず控えておいてください。

ロリポップへのインストール③



作成されたデータベース
情報が表示されますの
で、控えておいてくださ
い。

まずはインストーラによるインストール、続いて設定ファイル編集によるインストールを説明します。

◆ インストーラによるインストール

用意するファイル・・・soycms_install_1.*.*_mysql.zip

これを手元のPCで解凍すると、

soycms_installer

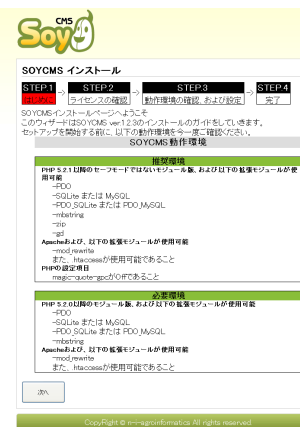
というディレクトリができます。これを先ほどのSQLite版で説明したのと同様の方法で

/cms/soycms_installer/

となるように中身のファイル全部ごとアップロードしてください。つづいて、ブラウザからインストーラにアクセスします。

http://(アカウント)[もしくは独自ドメイン]

/cms/soycms_installer/



このような画面が表示されますので、「次へ」を押してください。

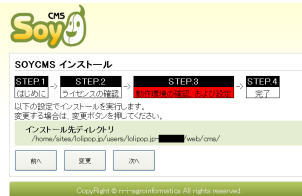
「上記内容を確認しました」にチェックを入れて、「次へ」を押してください。

「変更」を押して、インストール先ディレクトリを

/home/sites/lolipop.jp
/users
/lolipop.jp-*/
/web/cms/

に変更してください。

ロリポップへのインストール④



変更画面で「反映」を押し、インストール先ディレクトリが変更されていることを確認できれば「次へ」を押してください。



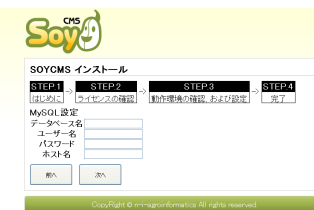
エラーがいくつか表示されると思いますが、無視して「インストール」を押してください。

ポップアップウィンドウで警告が出ますがそれも気にせず「OK」を押してください。

先に控えておいたデータベース接続情報を入力してください。

ホスト名・・・サーバー

他の項目は同名の項目の情報を入力してください。



「インストールを開始する」を押してください。



インストールが完了したら、「次に」を押してください。



「管理者ページへ」をクリックしてください。

あとはSQLite版と同じです。

ロリポップではデータベースがひとつしか作れませんので、「サイト」がひとつだけしか作成できないことに注意してください。

また、**サイト作成時には必ず「管理側データベースにサイトを作成する」にチェックを入れてください。**

初回ログインの設定を行います。

初期ユーザー名
パスワード
パスワード(確認)

ロリポップへのインストール⑤



◆ インストーラを使用しないインストール

用意するファイル・・・soycms_1.*.*_mysql.zip

これを手元のPCで解凍すると、SQLite版と同じ5つのディレクトリが作成されます。その中にある

/common/config/db/mysql.php

がデータベースへの接続情報を記入する設定ファイルです。最初は下記のような内容になっています。

```
Can not get a datasource.<br>
Please make sure your mysql configuration.<br>
The config file is <i>&lt;install_destination&gt;/common/config/db/mysql.php</i> .<br>
see -> <a href="http://www.soycms.net/man/mysql_configuration.html">
</a>

<?php
exit;
/* config start */
define("ADMIN_DB_DSN","mysql:host=localhost;dbname=soycms");
define("ADMIN_DB_USER","soycms");
define("ADMIN_DB_PASS","soycms");
/* config end */

/* do not change after. */
define("ADMIN_DB_EXISTS",file_exists(SOY2::RootDir()."db/cms.db"));
define("CMS_FILE_DB",ADMIN_DB_DSN);
define("CMS_FILE_DB_EXISTS",file_exists(SOY2::RootDir()."db/file.db"));
?>
```

赤字部分をデータベースの接続情報に書き換え、黄色字部分を削除して上書き保存してください。

ADMIN_DB_DSN・・・mysql:host=サーバー(mysql**.lolipop.jp)
dbmane=データベース名

ADMIN_DB_USER・・・ユーザ名

ADMIN_DB_PASS・・・パスワード

mysql.phpを上書き保存したら、soycms他5つのディレクトリを全ていまままでと同様に

/cms/

以下にアップロードしてください。

http://(アカウント)[もしくは独自ドメイン]

/cms/admin/

にアクセスすれば後はSQLite版と同じです。ただし、ロリポップ!ではデータベースがひとつしか作れませんので、「サイト」がひとつだけしか作成できないことに注意してください。また、**「管理側データベースにサイトを作成する」にチェックを入れてください。**

以上でインストールは完了です。あとの操作は「SOY CMSを使ってみよう! 其の②」等の資料をご覧ください。

CORES SERVER(XREA)へのインストール①



CORES SERVER(XREA)は設定に癖のあるサーバで、さくらやロリポップ！ほどインストールは簡単ではありません。また、標準状態ではPHPがセーフモードになっていることにもご注意ください。

● SQLite版のインストール

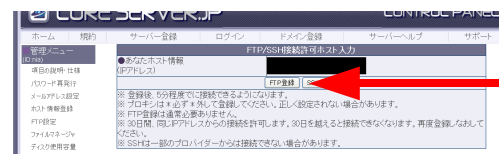
SOY CMS公式サイトからパッケージ「SQLite版インストーラ無」をダウンロードし、ファイルを解凍してできるディレクトリ

- ◆ soycms
- ◆ common
- ◆ admin
- ◆ app
- ◆ licence

をドキュメントルート以下の適当な場所にアップロードします。まずはFTPで接続できるように、CORESERVER管理画面から「Host情報登録」を行います。



Host情報登録



FTP登録

続いて、FTP接続に関する情報を確認します。



FTP設定

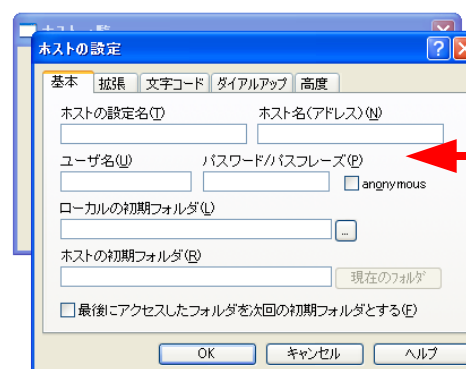


FTP接続に関する情報が表示されますので控えておいてください。

FFFTPを使って、FTPでサーバに接続します。



新規ホスト



接続情報を入力

ホストの設定名は分かりやすい名前を適当につけてください。

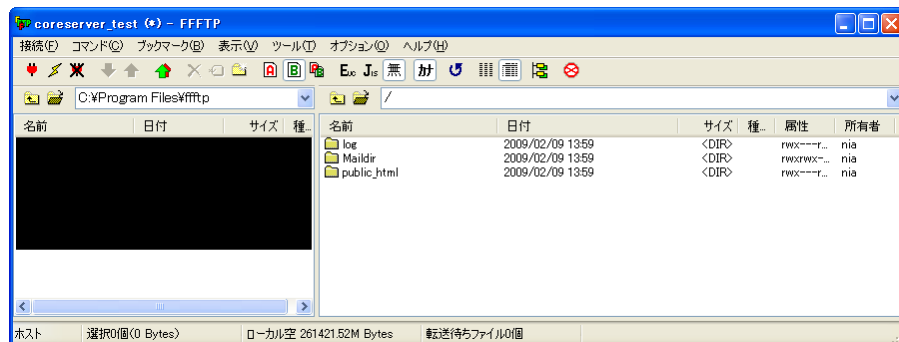
ホスト名・・・FTPサーバー
ユーザ名・・・FTPアカウント
パスワード・・・FTPパスワード

を入力してください。他は入力・チェックは不要です。

CORES SERVER(XREA)へのインストール②



作成したホストが選択されていることを確認して、「接続」を押します。



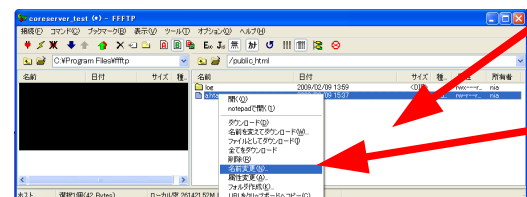
◆ .htaccess ファイルの準備

PHPをCGIモードで動かすために、.htaccessファイルを用意します。PCによっては「.htaccess」という名前でファイルを作成することができませんので、そういった場合はひとまず「a.htaccess」等の名前でファイルを作成し、メモ帳などテキストエディタで開いて

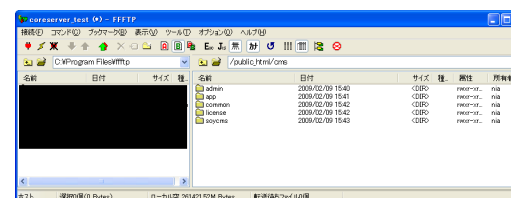
```
mod_gzip_on Off
AddHandler application/x-httpd-phpcgi .php
```

と2行書き込み、保存します。

このファイルを、/public_htmlの下にアップロードし、名前を変更します。



この部分にドラッグ&ドロップ
右クリックで「名前変更」→
ファイル名を「,htaccess」に変更



あとはブラウザから管理画面

http://***.coreserver.jp/cms/admin/

にアクセスし、画面の指示に従ってアカウントを作成してください。なお、**独自ドメインを使用する場合は必ず「Main」で設定してください。**他のディレクトリに独自ドメインを適用し運用するには高度なサーバに関する知識が必要です。

あとの操作に関しては「SOY CMSを使ってみよう！其の②」等の資料をご覧ください。

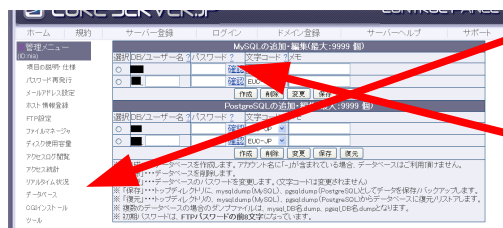
サイトのルート設定を行うと、先ほど作成した.htaccessファイルが上書きされます。**サーバ上にあるファイルを改めて編集し、先に説明した二行を書き足してください。**

CORES SERVER(XREA)へのインストール③



MySQL版のインストール

まずはMySQLのデータベースを作成し、接続情報を確認します。



「データベース」をクリック

MySQLの追加
文字コードはUNICODEを選択してください。

データベースの作成ができれば、データベース名やユーザ名等接続に必要な情報を控えておいてください(パスワード欄横の「確認」ボタンで表示されます)。つづいて、ファイルをアップロードするためにFTP接続を行い、**SQLite版と同様に.htaccessファイルを/public_html/以下に設置します。**

◆ インストーラによるインストール

用意するファイル・・・soycms_install_1.*.*_mysql.zip

これを手元のPCで解凍すると、

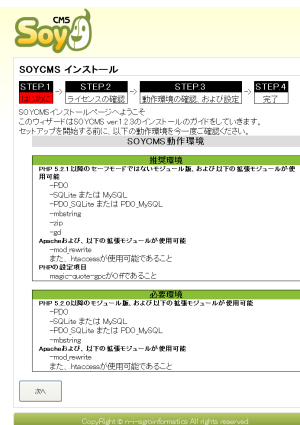
soycms_installer

というディレクトリができます。これを先ほどのSQLite版で説明したのと同様の方法で

/public_html/cms/soycms_installer/

となるように中身のファイル全部ごとアップロードしてください。つづいて、ブラウザからインストーラにアクセスします。

http://(アカウント).***.coreserver.jp[もしくは独自ドメイン]
/cms/soycms_installer/



「次へ」をクリック



「上記内容を確認しました」をチェックし、「次へ」をクリック



インストール先ディレクトリを
/virtual/(アカウント)
/public_html/cms

に変更して、「次へ」を押してください。

CORES SERVER(XREA)へのインストール④

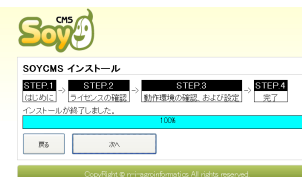


エラーがいくつか表示されと思いますが、無視して「インストール」を押してください。

ポップアップウィンドウで警告が出ますがそれも気にせず「OK」を押してください。

先に控えておいたデータベース接続情報を入力してください。
データベース名・・・
DB/ユーザー名
ユーザ名・・・
DB/ユーザー名
パスワード・・・
パスワード
ホスト名・・・
localhost

入力が完了したら「次へ」を押し、引き続き「インストールを開始する」を押してください。



初回ログインの設定を行います。

初期ユーザー名
パスワード
パスワード(確認)

インストールが完了したら、「次に」を押してください。

「管理者ページへ」をクリックしてください。

あとはSQLite版と同じです。

CORES SERVERではデータベースを複数作成することができますが、作成をPHPから行うことができないため、実質的にサイトはひとつしか作成できません。

サイト作成時には必ず「管理側データベースにサイトを作成する」にチェックを入れてください。

「ルート設定」を行ったときには、.htaccessが上書きされていますので必ず先に説明した二行を改めて追記してください。また、パーミッションの設定によっては「ルート設定」が行えないことがあります。ドキュメントルートおよび.htaccessファイルのパーミッションを確認してください。」

CORESERTER(XREA)へのインストール⑤



◆ インストーラを使用しないインストール

用意するファイル・・・soycms_1.*.*_mysql.zip

これを手元のPCで解凍すると、SQLite版と同じ5つのディレクトリが作成されます。その中にある

/common/config/db/mysql.php

がデータベースへの接続情報を記入する設定ファイルです。最初は下記のような内容になっています。

```
Can not get a datasource.<br>
Please make sure your mysql configuration.<br>
The config file is <i>&lt;install_destination&gt;/common/config/db/mysql.php</i> .<br>
see -> <a href="http://www.soycms.net/man/mysql_configuration.html">
```

```
>http://www.soycms.net/man/mysql_configuration.html</a>
<?php
exit;
/* config start */
define("ADMIN_DB_DSN","mysql:host=localhost;dbname=soycms");
define("ADMIN_DB_USER","soycms");
define("ADMIN_DB_PASS","soycms");
/* config end */

/* do not change after. */
define("ADMIN_DB_EXISTS",file_exists(SOY2::RootDir()."db/cms.db"));
define("CMS_FILE_DB",ADMIN_DB_DSN);
define("CMS_FILE_DB_EXISTS",file_exists(SOY2::RootDir()."db/file.db"));
?>
```

赤字部分をデータベースの接続情報に書き換え、黄色字部分を削除して上書き保存してください。

```
ADMIN_DB_DSN・・・mysql:host=接続サーバ名(localhost)
                        dbname=DB名
ADMIN_DB_USER・・・DBユーザ名
ADMIN_DB_PASS・・・パスワード
```

mysql.phpを上書き保存したら、soycms他5つのディレクトリを全ていまままでと同様に

/public_html/cms/

以下にアップロードしてください。

http://(アカウント)[もしくは独自ドメイン].***.coreserver.jp
/cms/admin/

にアクセスすれば後はSQLite版と同じです。CORESERVERではデータベースは複数作成できますが、作成は管理画面からしか行うことができないため、「サイト」がひとつだけしか作成できないことに注意してください。また、**サイト作成時には必ず「管理側データベースにサイトを作成する」にチェックを入れてください。**

独自ドメインを使用される場合、必ずドキュメントルート直下(Main)にご設定下さい。他の場所への設定には高度なサーバ管理の知識が必要です。

以上でインストールは完了です。あとの操作は「SOY CMSを使ってみよう！其の②」等の資料をご覧ください。

hetemlへのインストール①



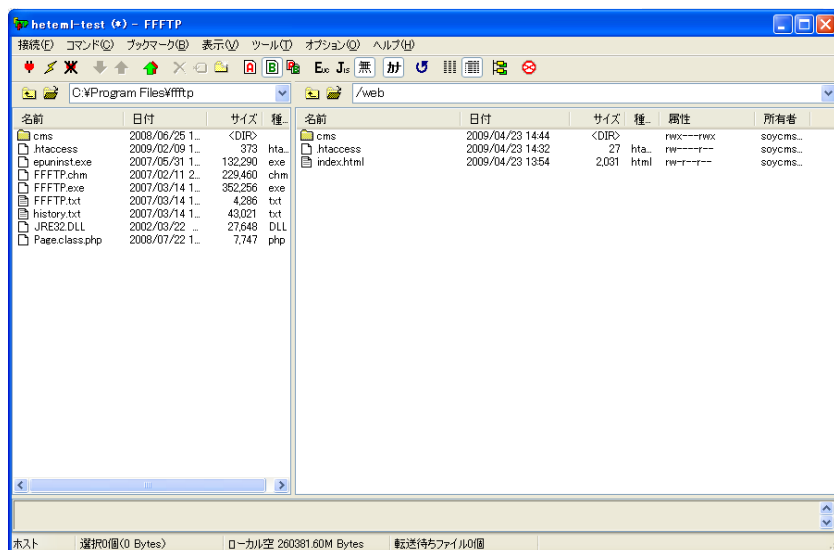
● PHPの設定に関する注意点

2009年4月23日現在、hetemlのPHPのバージョンは5.1.6のため、SOY CMSの動作環境を満たしません。また、SQLite3が使用できるPDOがインストールされていないためMySQL版のみ動作し、データベース数・データベース名の制約により複数サイトの作成やSOY Appの利用ができません。2009年6月29日、PHPのバージョンが5.2.8となり、SQLite版も動作するようになりました。DB数の制限の無いSQLite版の使用をお奨めします。

● SQLite版のインストール

まずは下記の内容一行だけ書かれた、htaccessファイルをドキュメントルート直下に設置し、PHPのバージョンを5にします。

```
AddHandler php5-script .php
```



次に、SOY CMS公式サイトから「SQLite版インストーラ無し」をダウンロード、解凍してできる5つのディレクトリ「soycms」「common」「admin」「app」「licence」とその中身のファイル全てをドキュメントルート以下に作成したディレクトリにアップロードします。※以後、本資料では分かりやすさを優先して/(ドキュメントルート)/cms/以下にアップロードするように記述していますが、セキュリティ上できるだけ第三者に推測され難い名前のディレクトリにアップロードされることをお進めします。また、できれば念のため当該ディレクトリにはBASIC認証等をかけておいてください。

アップロードが完了したら、下記のURLにブラウザでアクセスしてください。

http://(アカウント)/
(SOY CMSをアップロードしたディレクトリ)/admin/

以上でインストール完了です。

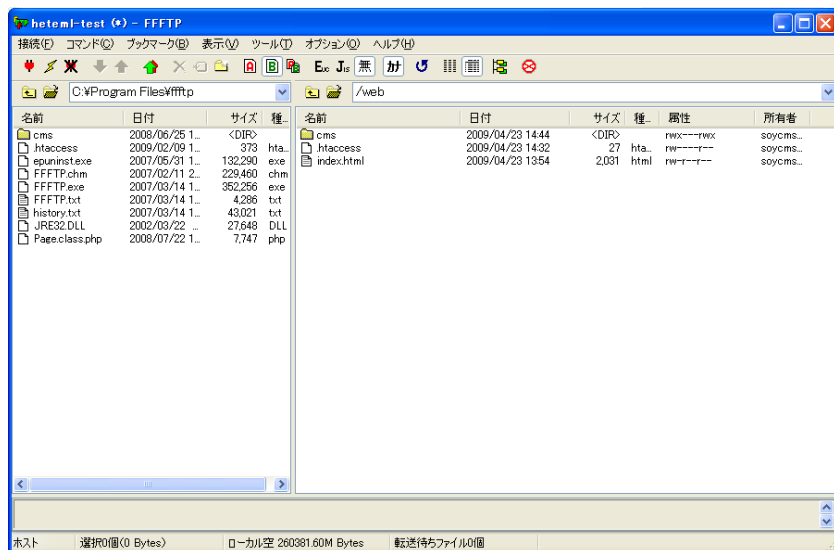
hetemlへのインストール②



MySQL版のインストール

まずは下記の内容一行だけ書かれた,htaccessファイルをドキュメントルート直下に設置し、PHPのバージョンを5にします。

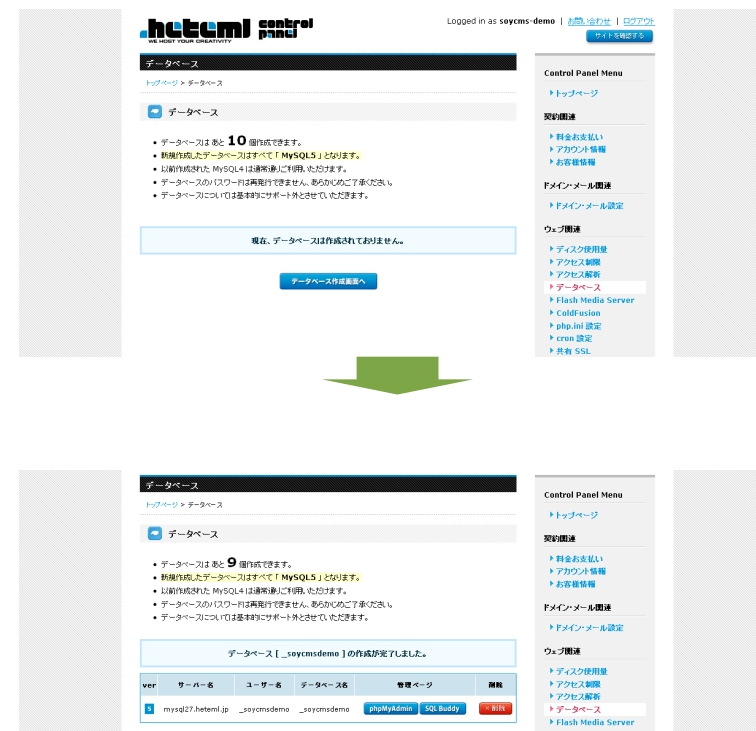
```
AddHandler php5-script .php
```



次に、SOY CMS公式サイトから「MySQL版インストーラ付」をダウンロード、解凍してできるディレクトリ「soycms_installer」とその中身のファイル全てをドキュメントルート以下に作成したディレクトリ（ここでは/web/cms/とします）にアップロードします。

MySQLデータベースの作成

hetemlのコントロールパネルから「データベース」を選択し、データベースの作成を行います。



hetemlへのインストール③

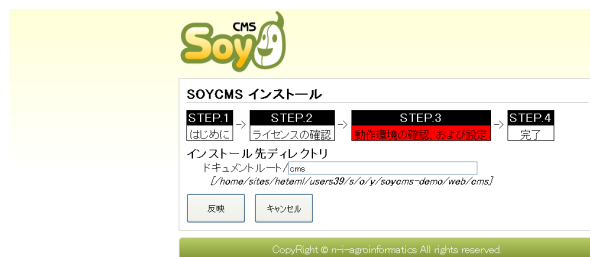


● SOY CMSのインストール

SOY CMSのインストーラを呼び出します。下記のURLにアクセスしてください。

http://(ドメイン)/cms(任意のディレクトリ)/soycms_installer

画面に表示される指示に従って操作を進めていくと、インストール先の設定画面になりますので、ドキュメントルート以下の適当なディレクトリを指定してください。ここでは「soycms_installer」を設置したのと同じ「cms」ディレクトリにします。



続いて、動作環境の確認画面が出ますが警告は無視して「インストール」を押してください。続いて表示される警告も無視してください。



次に、データベースの接続情報を入力します。先ほどコントロールパネルから作成したデータベースの情報を入力してください。



hetemlへのインストール④



続いて下記のような画面が表示されるので、CMSのインストール先にPHPからの書き込みが許可されているかどうかパーミッションを確認し「インストールを開始する」ボタンを押してください。



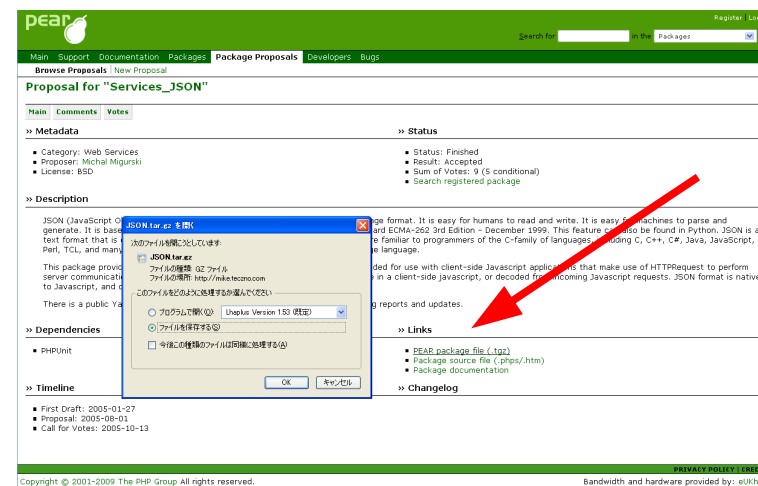
FTPでサーバに接続し、下記の5つのディレクトリがインストール先にできているかどうか確認してください。

/(SOY CMSのインストール先)/soycms/
/(SOY CMSのインストール先)/common/
/(SOY CMSのインストール先)/admin/
/(SOY CMSのインストール先)/license/
/(SOY CMSのインストール先)/app/

つづいて下記のURLにアクセスし、JSON形式のデータを扱うためのPEARをダウンロードします。

<http://pear.php.net/pepr/pepr-proposal-show.php?id=198>

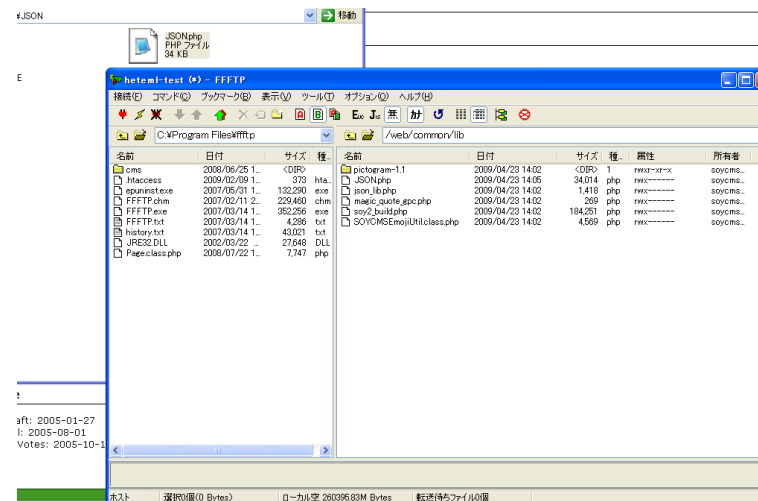
hetemlのPHPのバージョンが上がったため、本操作は不要になりました。



右下「Links」のところの「PEAR package file(.tgz)」をクリックしてファイルを保存・解凍してください。解凍してできるディレクトリにあるファイル「JSON.php」を、

/(SOY CMSのインストール先)/common/lib/JSON.php

となるようにアップロードしてください。



hetemlへのインストール⑤



あとは

[http://\(ドメイン\)/\(SOY CMSのインストール先\)/admin/](http://(ドメイン)/(SOY CMSのインストール先)/admin/)

にアクセスし、初期管理者の設定を行えばインストール完了です。

初回ログインの設定を行います。

初期ユーザー名	<input type="text" value="soycms"/>
パスワード	<input type="password" value="●●●●●"/>
パスワード(確認)	<input type="password" value="●●●●●"/>
<input type="button" value="完了"/>	

サイト作成時には必ず「管理側データベースにサイトを作成する」にチェックを入れてください。

また、「ルートサイト設定」を行うとドキュメントルート直下の.htaccessファイルが上書きされますので、最初に設定した

```
AddHandler php5-script .php
```

という一行を新しくできた.htaccessファイルの先頭に追記してください。

その他のサーバや環境に関しても、インストール方法が判明しましたらマニュアルを拡充していきたいと思っております。情報がございましたらフォーラム (<http://www.soycms.org/>) もしくは下記までご連絡下さい。

お問合せ先
株式会社日本情報化農業研究所
<http://www.soycms.net/>
<http://www.soycms.org/>
<http://app.soycms.net/>
soycms@soycms.net